

事業番号	事務事業名	生ごみ処理機等助成事業	所管課名	くらし安全課	令和 3 年度課長名	小原 克則
02462	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	環境係	担当者・シート作成者	根本 瑞樹
	施策名	44 循環型社会の形成	根拠法令等	鏡野町家庭用生ごみ処理機等購入費助成金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	家庭用生ごみ処理機及び生ごみ処理容器の購入に対し、購入代金の半額の助成を行う。 生ごみ処理機は、1世帯に1台。補助額の上限は30,000円。 生ごみ処理容器は、1世帯2台。補助額の上限は、1台当り5,000円。	一般家庭から排出される生ごみの減量又は堆肥化による再利用ができる機器を設置する町民に対して、家庭用生ごみ処理機等購入費助成金を交付することにより処理機等の設置を促進し、一般家庭から排出される生ごみの減量及び資源の再利用意識の高揚を図ることを目的として平成23年7月から開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町民	ア 世帯数	世帯	見込 実績	5,600 5,587	5,600 5,589	5,600 5,580	5,600	5,600
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア ごみの減量化意識高揚	ア ゴミ減量化・リサイクルに取り組んでいる町民の割合	%	目標 実績 達成率	83 73 87.8%	84 79 94.5%	74 73 98.6%	75	75 97.3%
イ ごみの排出量の軽減	イ 生ごみの減量に取り組んでいる割合	%	目標 実績 達成率	-	80 100.4%	90 89.0%	90	90 89.0%
ウ	ウ 津山圏域クリーンセンターへのごみ搬入量(可燃:委託及び個人、許可(個人))	t	目標 実績 達成率	1,900 1,957 103.0%	1,900 1,983 104.4%	1,900 1,958 103.1%	1,900	1,900 103.1%

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 助成申請の審査及び交付事務	ア 申請受付件数	件	目標 実績 達成率	25 21 84.0%	25 22 88.0%	25 25 100.0%	25	25 100.0%
イ	イ 設置台数(生ごみ処理機)	台	目標 実績 達成率	10 7 70.0%	10 10 100.0%	9 5 55.6%	9	9 55.6%
ウ	ウ 設置台数(生ごみ処理容器)	台	目標 実績 達成率	20 18 90.0%	20 14 70.0%	18 22 122.2%	18	18 122.2%

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 02		目 01		中事業		予算上の事業名			事業番号	
	一般会計		衛生費		清掃費		清掃総務費		02		03		生ごみ処理機等助成事業		
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	511	400	360	400	400	-40	その他特財	272	329	194	400	400	-135		
一般財源							一般財源								
合計	511	400	360	400	400	-40	合計(A)	272	329	194	400	400	-135		
財源名称	清掃費雑入 ゴミ袋代						従事正職員人数		1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間		35	35	35	35	35		
							人件費計(千円)(B)		123	117	117	120	120		
	最終予算額		360 千円		予算執行率		53.8%		トータルコスト(A+B)		395	446	311	520	
主な支出事業内容(予算)	補助金						360 千円		主な支出事業内容(決算)		補助金		194 千円		

事業番号	02462	事務事業名	生ごみ処理機等助成事業	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	-------------	------	--------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
コロナ渦で、巣ごもり等により可燃ごみ量が増加している。津山圏域資源循環施設組合では、可燃ごみピット容量が一時170%を超え処理に支障が出ている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
広報紙、HPへの掲載等の啓発活動、R4.2.23付けで要綱改正し、R4年度より、補助率及び補助上限額の増額を行った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
特になし

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	生ごみをたい肥化、減量化することで、循環型社会の形成に寄与している。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	一般廃棄物の処理責任は、市町村にあり、廃棄物の減量化の推進において、当事業はその有効な手段となっている。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	意識の高揚は、図れており、ごみの減量化の促進に向け補助率及び補助上限を引き上げを行った。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	補助率及び補助上限額を引き上げ、購入意欲の向上を行うことで、成果の向上を見込んでいる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	可燃ごみの排出量が増加する。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	制度の周知をHP、広報紙等のあらゆる媒体で行うことで、成果の向上を見込んでいる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	補助金のみのため、削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	滞納状況確認等職員に限定される事務及び申請受理、補助金交付事務について、担当職員1名で行う事務	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	全ての世帯を対象としており、公平公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 補助金額の改定の周知を十分に行う。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>/</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			/		低下	/	/	/
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			/																					
	低下	/	/	/																					
なし																									